

令和3年度 弘前大学科研費獲得支援事業（大型種目チャレンジ型）公募要項

令和3年度公募における主な変更点

- ・ 審査結果がA評価の研究課題に対する支援額の上限を、以下のとおり大幅に増額しました。
基盤研究（S）相当の研究種目：2,000千円 → 8,000千円
基盤研究（A）相当の研究種目：1,500千円 → 3,000千円
- ・ 令和3年度において研究代表者として採択されている科研費課題がある申請者についても、「4. 支援額」に規定する1/2の額を新たに支援することとしました。

1. 目的

本事業は、科研費申請の基本方針により基盤研究（B）相当以上の大型種目の採択を目指し、令和3年度科学研究費助成事業（令和2年9月に公募があった事業を指す。以下「当該年度科研費」という。）へ申請し、不採択となった研究課題に対して、研究費の一部を支援することにより、引き続き大型種目へ申請できる研究環境を充実し、令和4年度公募科研費（以下「次年度科研費」という）の採択数及び採択額を向上させることを目的としている。

2. 申請要件

申請要件は、以下に示す全ての条件を満たすこと。

- (1) 当該年度科研費のうち、基盤研究（S）・（A・B（一般））、特別推進研究、挑戦的研究（開拓）に申請した研究課題であること。
- (2) (1)の研究課題の研究代表者であること。
- (3) 当該年度科研費が不採択の場合、(1)の研究課題の研究種目相当以上の研究種目で次年度科研費に必ず申請すること。
- (4) 当該年度科研費が不採択の場合、次年度科研費の申請に向けた改善計画を提出すること。
なお、次年度科研費に申請する研究課題は、不採択の研究課題と同一研究種目に限らない。
- (5) 本事業の採択者を対象に実施するアカデミックチェック（2回実施）を必ず受けること。
- (6) 科研費採択時に大型設備を購入した場合、研究に支障の無い範囲で共用機器基盤センター等への共用機器登録について、協力すること。
- (7) 過去5年間で、継続課題も含め、研究代表者として科研費の採択実績があること。
- (8) 令和3年4月1日現在で本学に在職する教員であること。

3. 支援期間及び支援内容等

- (1) 当該事業への申請者のうち、科研費が不採択となった者で「4. 支援額」に該当する者へ研究費を支援する。
- (2) 支援期間は、令和3年度とする。
- (3) 残額は翌年度に繰り越さない。
- (4) 研究計画調書のアカデミックチェックを以下の2段階実施により支援する。
 - ①令和3年 8月：不採択となった当該年度科研費の研究計画調書を対象に実施
 - ②令和3年10月：①を踏まえて作成する次年度科研費申請の研究計画調書を対象に実施※ 令和4年度申請の研究計画調書は、別途指示する期限までの提出を必須とする。
- (5) 大学主催の科研費説明会等の外部資金獲得セミナーには必ず参加すること。

4. 支援額

- (1) 不採択者のうち、審査評価がA評価者又は順位が付されない区分については平均評点が 2.6以上の研究課題である者に学外研究分担者への配分額を除く初年度申請額の50%に相当する額（10千円未満切上げ）を研究費として支援する。
ただし、上限額は以下のとおりとする。

《上限額》

- ① 基盤研究（S）相当：8,000千円（申請額が50,000千円以上、200,000千円以下）
- ② 基盤研究（A）相当：3,000千円（申請額が20,000千円以上、50,000千円以下）
- ③ 基盤研究（B）相当：1,000千円（申請額が5,000千円以上、20,000千円以下）

- (2) 基盤研究(B)相当以上の不採択者のうち、審査評価がB評価又は順位が付されない区分については平均評点が2.4以上の研究課題である者に400千円、C評価又は順位が付されない区分については平均評点が2.4未満の研究課題である者に100千円を研究費として支援する。
なお、令和2年度かつ令和3年度にC評価を受けた者は支援の対象外とする。

5. 提出書類

提出書類は、次のとおりとする。

※「様式1」については、申請時は一部の項目のみ入力した暫定版を提出し、採否判明時に審査結果等の全項目を入力したものを改めて提出すること。

- (1) 申請時
- ①様式1「令和3年度 弘前大学科研費獲得支援事業 申請課題一覧」(暫定版)
 - ②様式2「令和3年度弘前大学科研費獲得支援事業(大型種目チャレンジ型)申請書」
- (2) 不採択時(採択者は②、③の提出不要。)
- ①様式1「令和3年度 弘前大学科研費獲得支援事業 申請課題一覧」
 - ②様式3「令和3年度弘前大学科研費獲得支援事業(大型種目チャレンジ型)計画書」
 - ③当該年度科研費研究計画調書のPDFデータ

6. 提出期限

- (1) 申請時
令和2年11月13日(金)
- (2) 不採択時
4月内定の研究種目:令和3年5月14日(金)
6月内定の研究種目:令和3年8月27日(金)
- ※「(1)申請時」に申請していない課題であっても、「(2)不採択時」に様式2「令和3年度弘前大学科研費獲得支援事業(大型種目チャレンジ型)申請書」を不採択時提出書類とあわせて提出することで追加の申請を受け付ける。ただし予算状況によっては、「(1)申請時」に申請があった課題から優先して採択する場合がある。
- ※「(2)不採択時」に追加で申請のあった6月内定の研究種目については、日程の都合上、アカデミックチェックの支援は1回(10月実施)分のみの実施となるので留意すること。

7. 成果の報告

様式4「令和3年度弘前大学科研費獲得支援事業(大型種目チャレンジ型)成果報告書」を令和4年4月29日までに提出すること。

8. 申請にあたっての注意点

- (1) 本事業へ同一の研究者から複数の研究種目の申請があった場合は、研究費の総額の大きい種目を優先して採択する。
ただし「基盤研究(B)(一般)」と「挑戦的研究(開拓)」の優先度の比較は申請者本人の判断によるものとする。
- (2) 令和3年度において、研究代表者として実施する科研費の採択課題(継続課題含む)が一件以上ある申請者については、「4. 支援額」に規定する額の1/2を支援する。
なお、補助金種目における繰越課題、基金種目における期間延長課題は継続課題に含めない。
- (3) 同一の研究者が、本事業ならびに「令和3年度科研費獲得支援事業(令和3年4月公募予定)」の双方から支援を受けることはできない。両事業へ申請があった場合は、本事業に申請のあった研究課題を優先して採択する。
- (4) 研究費の支援後に、明確な理由なく定められた科研費研究種目に申請しなかった場合は、支援した研究費を全額返納させる。

9. 書類の提出先

研究推進部研究推進課研究推進G(研究推進担当)

E-mail: mzh2430@hirosaki-u.ac.jp (CC: jm3909@hirosaki-u.ac.jp)